



## 市民活動情報サロンを 「きずな」が引き続き運営受託



「とよなか市民活動ネットきずな」がコンペの結果、引き続き「市民活動情報サロン」の運営を豊中市から受託することになりました。よろしくお願ひいたします。

「きずな」のメンバーとしては、「市民活動情報サロン」の運営に、限られた運営費用と狭いスペースのなかで、いろいろ努力してきているつもりなのですが、どれだけお役にたっているのでしょうか。

サロンの利用者が減ってきているとか、サロンの認知度が低いとか、若者の利用が少ないとかという評価もあるようです。サロンを受託している法人としては、心しなければならぬ面があるのかもしれませんが。

しかし、一方では市民が本当に困った時、行政サービス等では解決できない課題のいわば「駆け込み寺」となっており、いくつかの市民活動団体とそのネットワークがボランティアでその課題解決を担っています。そんな「場」としての機能を市民活動情報サロンが果たしてきているとの声も根強くあります。受託している法人としては、うれしい限りです。サロンでの相談を通して、市民がいろんなことについて忌憚なく語り合うことによって、サロンは人と人を結びつける「場」としての機能を果たし始めているようです。

事業の評価はむずかしいものです。どんな尺度で評価するのかによってまるで見え方が違ってきます。その尺度も条件が変われば、「事実」を正しく表現しなくなって

しまいます。

たとえば、情報収集を例にとれば、一昔前は紙媒体のチラシや新聞などから情報を得ることが多かったのですが、今ではインターネットで情報を集めるのが主流になっています。大手の新聞社さえ経営危機が噂される時代です。サロンへ足を運んでチラシ等で情報を求める市民は減っているのかもしれませんが。また、ボランティア等への市民の関心はどうでしょう。高まっているどころか、生活に追われ始めて、関わりたくても関われなくなってきているのではないのでしょうか。特に若い市民にとっては。

そんなことを考えるとき、市民がサロンに求めるものが変化してきていることが想像できます。数量的変化では評価できない、質的な変化が起こってきていることを見る必要があるようです。変化しているパラダイム（思考の枠組み）に合った評価基準・尺度が求められているように思います。そのためには、評価する側と評価される側の情報の共有が不可欠ですし、尺度づくりの「協働」が必要です。

サロンを利用される団体、市民のみなさんからも“サロンをよりよくするための”ご意見を寄せていただきたいものです。ウイークリーサロンやステーション事業などで語り合っ、よりよいサロンをつくり上げていきたいものです。

(特活)とよなか市民活動ネットきずな代表理事 永田良明

### パネルによる豊中の市民活動

と き：6月7日(月)～11日(金)

9時～17時(11日は16時まで)

ところ：豊中市役所 第二庁舎ロビー(中桜塚3)

内容：豊中で活動するさまざまな市民活動をパネルで紹介します

※昼休みを利用してミニロビーコンサートもあります

#### ●市役所のロビーで出張ウィークリーサロン

と き：6月7日(月)14時～16時

ところ：パネル展会場(市役所第2庁舎ロビー)

内容：パネル展の開催初日に、出展している市民活動団体のみなさんと、パネル展など市民活動の情報発信、広報活動などについて意見交換します。

# きずな人往来

(社)アムネスティ・インターナショナル  
日本支部  
第10グループメンバー

## 恒成 和子さん

つねなり かずこ ▶長年、草の根市民の運動を独創的に実践し、日本のアムネスティ運動に、理論的にも実際的にも計り知れない大きな影響を与え続けてこられた ▶豊中在住 ▶アムネスティとは：1961年にロンドンで誕生。「良心の囚人」の釈放、すべての政治犯に公正な裁判を要求、すべての拷問・死刑反対などの運動を通して世界中で世界人権宣言が守られることを目的にしている草の根の市民運動。世界180カ国以上に220万人を超える会員がいる。(アムネスティ・インターナショナル日本のホームページを参照)



### ●アムネスティに関するまでのご自身の歴史は？

戦争中学徒勤労働員で爆弾の部品をつくったり、大阪の空襲もことごとく経験し敗戦を迎えた。次の日から「日本中が全部戦争反対でありました。」というふう在世論が180度転換してしまって、自分もその仲間なんだけど、それにしてもここまで人間の意思が一度に変わりうるものかと、非常に啞然としたものがあった。早稲田大学を出て東京で神近市子の主宰する「婦人タイムス」の記者になり、1950年の皇居前事件、内灘闘争などの現場を目撃。言論思想の自由を考えるきっかけともなったレッド・パーズも吹き荒れた時代だった。その後、実家の事情で帰阪して起業し、それが当たって大儲けした。週刊誌のフリーライターの仕事もした。1973年、日本のアムネスティの創設(1970)メンバーである友人が『良心の囚人-陳玉璽』を出版した際にカンパしたことがきっかけで、その友人から「アムネスティ会員にしといたよ」と言われ、「へー、アムネスティって何？」それが始まり。

### ●長年続けることができたのは？

1973年に関西でもグループができ、80年には大阪事務所ができた。私は75年から約10年に渡る韓国の政治犯への支援や、アムネスティの国際分担金のためのお金の工面のための大規模なバザーやコンサート、また3回にわたる世界人権宣言などの翻訳コンテスト、日本支部への政策提言など実に様々なことをしてきた。アムネスティを始めて、それまでマスコミや商売で経験してきたことが全部合流した感じがした。市民運動は零細企業と同じで金儲けも必要。それがでけへんかったらなんぼ市民力って言うてもねー。

私の個性は、無理しない、お好きなように、どうでもいいじゃん-この3つ。人に無理強いしない。建前運動が多い中で比較的本音で、おかしいことはおかしいと言う、そんな具合にやってきた。「こうしなければ」でやってきたのではなくて、結局偶然というか、出会いというか、ご縁やね。それに一人やったらできない、相棒作りが大事。それに何よりも、「なんで人権っていうのが、日本の中で話されないし、自分の中にも内面化しないのだろうか？」というのが自分の生涯のテーマであり続け、そのために本を読み勉強してきた。それが、非常におもしろくて、35年続いてきた原動力になったと思う。

### ●今の日本の人権教育をどう考えますか？

日本の人権教育は、福沢諭吉が言うところの官許の説教やね。自分たちの都合の悪いことは受け付けない。『学問のすすめ』を読むと、天が決めた、天の道理などの『天』という言葉がしきりに出てくる。これは宇宙的規範と道徳的規範をかねた言葉で普遍に通ずる。ところが、今の人権教育では、人権は人間が決めた、国連が決めたと言うんですよ。これでは普遍にはならない。

また、自分を理想とする『自分らしく』は言っても、ある理想があって自分があるという『独立自尊』は言わない。自分の中にある悪いものも含めてそれでよしいということになるから相対化の極致やね。自己実現が人権の目標になるのはおかしいでしょ？

### ●何が一番うれしかったことですか？

1973年のアムネスティのウイーン世界大会で、韓国アムネスティの尹玄(現「北韓人権市民連合」理事長)と出会ったことから始まった韓国の良心の囚人への支援が実ったことですね。2000年に元囚人を訪ねるドキュメンタリー番組が韓国で全国放映されたことや2005年には民主派の盧武鉉政権のとき、当時の首相以下70人連名の招請状をいただき訪韓したとき、お名前は熟知しながら会ったことのない、今や体制側のリーダーになっている元良心の囚人の方々大勢にお会いし「人生、こんなこともあるのか」と思った。何より中国や韓国に友達ができたことがうれしい。

とにかくお話が広くて深くておもしろい。神話、歴史、人思想などを織り交ぜながら、縦横無尽で尽きることがない。丸山 眞男、司馬遼太郎、谷川俊太郎、鶴見俊輔など多彩な人脈に驚く。「丸山先生が、何でアムネスティをやってるかわからないと言った私に、“よく自分を振り返ってみなさい”と珍しく叱られたことを覚えている。後日くださった阪神大震災のお見舞いの手紙に、自らの関東大震災での体験を重ねて“人間は利他的な精神もあるんですよ”と書いておられた。それが答えだったのですね。」というお話がとても印象的だった。とにかくお伝えしたいことがこの小さな記事に収まらないのが残念……

(鶴川)



# 豊中のNPO探訪 その8

「NPO 法人 関西シャンソン協会」 理事長 ヤスコ Wild さん



豊中市庄内の商店街を抜けると、突然石畳と  
"Château Chenonceau" (シュノンソー城) のブ  
レートが掛った洋風の建物が現れます。そこがシャンソン  
歌手ヤスコ Wild さんの「ヤスコ音楽の城」です。今にも窓  
からシャンソンが流れてきそうです。そのレッスン場でこ  
れまでの活動やNPO法人設立の経緯などを伺いました。

**Q: シャンソンとの最初の出会いはいつ頃?**

A: 1960 年頃、シャンソン歌手の中原美紗緒さんが扮す  
る「あんみつ姫」というTV番組がありました。振袖姿の可  
愛いあんみつ姫がフランス語で「はじめての日のように」っ  
ていうシャンソンを歌ったんです。当時、私はまだ小さかつ  
たんですが、その曲の美しい一節がずっと心に残っていた  
ようです。今から思えばこの曲が、シャンソンとの初めての  
出会いでした。そして、27 歳のとき、大阪よみうりレディー  
ズスクールシャンソン教室に入学しました。1979 年シャン  
ソニエ (ライブハウス) 「ジルベール・ベコー」のオーディ  
ションに合格。プロ活動を開始しました。

**Q: シャンソン教室の講師を務めるかたわら、リ  
サイタルやコンサートをされていますね。**

A: 2004 年、第一回ガラコンサートを開催しました。テー  
マは『戦争?』で 40 曲すべて反戦歌でした。前年イラク戦  
争が起こって自衛隊が派遣されることになったでしょ。あんな  
遠いところまでいかないでもいいのにと思ったのが、きっ  
かけでした。そのコンサートで城東区旭中学校の生徒さん  
たちが、一心に反戦歌を歌ってくれたんですが、あの澄ん  
だ歌声には感動しましたね。私自身、ベルトルト・ブレヒト  
の反骨精神に魅せられて、三文オペラの「大砲ソング」にの  
せて兵隊さんの悲哀を歌いました。

**Q: 約 30 年のプロ活動の中で印象に残ってい  
ることはなんですか?**

A: パリのラパン・アジルで「行かないで」を歌った時のこ  
と。ラパン・アジルは 120 年の伝統があるシャンソニエで、  
ピカソやユトリロが貧乏芸術家であった時代に常連客とし  
て通った店として知られています。エディット・ピアフも歌っ  
たところ。お客さんは、はじめ遠巻きに見ていたのですが歌  
い終わると親しげに近寄って来て、私を抱きしめキスマまで  
してくれました (笑い)。言葉を越えて友達になりました。音楽



に国境はないって肌で感じまし  
た。

(注) ラパン・アジルはフランス語で跳び  
はねうさぎの意味。ラパン・アジルにはウ  
サギの絵が掛っている。

**Q: 今年4月NPO法人を設立されましたが  
動機をお聞かせください。**

A: 音楽のくらしは定職ではないですね。音楽活動もしっ  
かりとした地盤はいると思います。安心して聴いていただく  
ために地域と連帯して、シャンソンの発信基地のような形  
を作りたいと思っています。それから、だれでも幾つになっ  
ても自由に歌えるようなシャンソンの普及に努めたいと考  
えてNPO法人を立ち上げました。

**Q: 協会設立後、早速活動を開始されましたが。**

A: はい。4月、第七回ガラコンサートを「人生、希望、愛、平  
和」をテーマにミュージシャンたちが集い歌いました。

**Q: これからのNPO法人としての活動は?**

A: 5月~6月、発表会(豊中アクア文化ホール、兵庫県立  
芸術文化センター小ホール)。6月、豊中市内の高齢者介  
護施設豊泉家で私のメンバーがシャンソンのボランティア  
活動。7月、第一回NPO法人総会。8月、第一回シャンソ  
ンコンクール(予選大丸心斎橋劇場、本選ワッハ上方ワッ  
ハホール)。9月、シャンソンキャラバン隊ライブハウスめぐ  
り。10月、第一回シャンソンコンサート(プロ、アマ出演、  
NHKホール)。他にライブ出演やシャンソン教室の講師な  
どです。

**Q: 協会の会員数はどれくらいですか?**

A: 200人くらいです。

**Q: 随分多いですね。**

A: えっ。200人は多いんですか。以前から出している広報  
誌「太陽光線」の会員200人全員NPO法人設立に賛成  
してくれました。協会のコンセプトは『LOVE&PEACE 音  
楽を通して愛と平和を発信し、心豊かな環境を作っていく  
こと』です。NPO活動について徐々に学びながら、地域との  
「きずな」を深めていきたいと思っています。ラパン・アジル  
で経験したことがNPO活動を展開するきっかけになりました。  
シャンソンをとおして地域で友情の輪を広げていきたく  
いと思っています。

NPO 法人になったばかりでこれからの活動が期待さ  
れます。豊中市民文化祭や夏祭りで地域活動にご一緒で  
きると嬉しいです。(小川朋子)

問合せ: NPO 法人 関西シャンソン協会

Tel&Fax 06-6336-0201

<http://music.promole.net/kanchan/>

リレーエッセー

## 市民活動 曼荼羅

①

介護保険、障害者自立支援法に  
従いヘルパー派遣の事業を通して  
感じている市民活動。

「三方一両得」の思いで事業がスタート、  
利用者、ヘルパー、事業所がともに1つずつ  
得する。人と人の繋がりはお互いに支え合うことからはじ  
まる、ヘルパーさんの喜びも相手の利用者が喜んでくれること  
で満たされ、そのおかげで事業所が運営できる。

ヘルパーさんはしんどい仕事、活きを感じて働いていても  
それだけで長続きはしない、

そこへ潤いをもたらすのが事業所の仕事。

このつながりを多年に渡り維持するのが法人の使命。  
ひとがあつまれば問題もある、時がすぎれば人も変わる、  
次の世代に法人の思いをつたえ盛り上げてくれる人材を  
育てるのがこれからの市民活動の大きな課題。

(特活) ほがらか監事 (前理事長)  
黒田 三四郎

### Q：事業費？管理費？

助成金申請の際、「事業費助成で管理費は含み  
ません」という文言があります。

事業費と管理費の区分がよくわかりません。



**A**：事業費はその事業を行なうのに実際にかかる経費で、例えばイベ  
ントを開催する場合など、会場費や印刷代、謝礼金などが要りますが、そ  
ういう費用を事業費といいます。

管理費は直接の事業には関係ないが組織の運営上必要な経費のことで  
す。同じ会場費でもイベントの打ち合わせに借りた会場代は事業費です  
が、総会や定例会などを開くための会場代は管理費となります。家賃や光  
熱費、電話代などは管理費ですが、事業のために使った部分もある場合、  
按分して事業費に計上することはできます。その場合の按分には時間や  
面積など事業に使われた部分を合理的に説明ができることが大事です。  
人件費を認める助成が多くなっていますが、考え方は同じです。

### ◆2009 年度寄付の報告とお礼 寄付総額 176,760 円

お名前(敬称略) / 東 千鶴子・東 伸吾・小川朋子・加福共之・子育てサポートグループ  
your friend げんき村・恒成和子・峰岸暁美・鶴川まき・永田良昭  
あたたかいご協力ありがとうございました

### 「いろいろえんぴつ」へのご意見、ご感想をお寄せください

■特定非営利活動法人 とよなか市民活動ネットきずな

〒561-0884 豊中市岡町北 3-3-10 TEL&FAX 06-6848-8989

■市民活動情報サロン (阪急豊中駅北改札口前)

TEL06-6152-2212 FAX06-6152-2213

URL:<http://www.kizuna-toyonaka.or.jp> Mail:[mail@kizuna-toyonaka.or.jp](mailto:mail@kizuna-toyonaka.or.jp)

## わーさんのおすすめ本

山脇直司

### 「社会思想史を学ぶ」

(ちくま新書)

★★★★☆

発行：筑摩書房



この著者は、  
数年前、同じ出  
版社から「公共  
哲学とは何か」という本を出さ  
れています。「市民公益活動」  
に関心を持つ人たちの参考書  
として、結構、流通しました。で  
も、「哲学」という語感から、難  
解本としてスルーした人も多  
かったかもしれません。この本  
も、「思想」という言葉があるた  
め、「市民公益活動」とは、隔た  
り感があります。ところが、読ん  
でみると、例えば、「ブッシュ政  
権の外交政策」をブッシュした  
アメリカ発「ネオコン」という名  
の帝国主義思想は、「イラク戦  
争の非がオバマ現大統領によ  
っても明言されたことによ  
り、破綻した…」というように、  
スッキリ、バツサリ、書かかれて  
います。「市民公益活動」とか、  
市民社会の行方を探る参考  
書、プラス「思想の豆事典」と言  
える本です。

(平尾)

### 編集後記

今年の春は肌寒い雨天が  
続き、陽ざしのありがた  
さが身に沁みた。「あつ  
て当たり前」と思ってい  
る日頃の傲慢さにふと気  
づく。思いを形にする市  
民活動は、地道な日々の  
積み重ねがあつてこそ、  
と思う。(う)

# きずなダイアリー



NPO法人 TIFA(国際交流の会とよなか)

## ●Simpatia シンパティア チャリティーコンサート for TIFA

★新緑の季節です。さわやかな音色を楽しみませんか？

★日時:2010年5月29日(土) 17:30開場  
18:00開演/会場:とよなか国際交流センター、  
音楽・健康づくりルーム(阪急宝塚線豊中駅西側エト  
レ豊中ビル6階)/参加費:1,000円(お茶・お  
菓子付)

★出演:村上吉史(ギター)、福山和男(フルート)、野  
村透(リコーダー)★曲目:イギリス リュートソ  
ング、ヨーロッパ民謡めぐり 他

\*このコンサートの収益はTIFAの国際交流・外国人  
支援活動に寄付されます。

お申し込みは下記事務局

## ●湯浅浩和写真展「カフィリスタン 異教徒の住む国」(同時開催)

### TIFA ネパール支援活動写真展

★期間:2010年6月1日(火)~15日(火)/会場:  
すてっぷ ギャラリー(阪急宝塚線豊中駅西側エト  
レ豊中ビル5階)

## ●TIFAグローバルサロン「アジアを 旅して~消えゆく文化の現状~」

★大切な文化がアジアの国々で確実に失われつつあ  
ります。写真で切り撮った国々の現状を見ながら、写  
真家の湯浅さんからお話をうかがいます。ぜひご参  
加ください。

★日時:6月6日(日)14:00~16:00/会場:  
とよなか国際交流センター 第4会議室(阪急宝塚線  
豊中駅西側エトレ豊中ビル6階)/参加費:200円

★講師:湯浅浩和さん(写真家・TIFA会員)

## ●TIFAセミナー「ネパール・講演と 活動報告のつどい」

★日時:6月12日(土)14:00~16:00/会  
場:すてっぷ セミナー室(阪急宝塚線豊中駅西側エ  
トレ豊中5階)

★内容:第1部:講演「ネパール社会と女性」  
講師:南 真木人さん(国立民族学博物館 准教授)  
第2部:TIFAのネパール活動報告(女性自立支援、子  
ども教育支援、地域医療支援)

### ★いづれもニ

主催・問合せ:NPO法人 国際交流の会とよなか  
(TIFA)TEL&FAX06-6840-1014

Eメール tifa99@nifty.ne.jp

ホームページ <http://homepage1.nifty.com/tifa/>

NPO法人 障害者の自立を支えるサポート  
ネットワーク(サポネ)

## ●「大人も子どももつながる いき場 づくりをめざして~パネルディス カッション~」

★日時:2010年5月30日(日)15:00~18:00  
/会場:すてっぷホール(阪急宝塚線豊中駅西側エト  
レ豊中5階)/入場無料/内容:あたたかい人のつな  
がりを感じながら豊かに生きて死ぬためにはどうし  
たらよいか各地域で実践している皆さんによるパネ  
ルディスカッション

★コーディネーター:齊藤弥生さん(大阪大学准教  
授)/パネラー:伊藤真美さん(花の谷クリニック院  
長)、西野玲子さん(桜塚校区福祉会小さなくりの  
木会責任者)、山王丸由紀子さん(フェリスモンテ理事  
長)、隅田耕史さん(フェリスモンテ事務局長)、井上  
康さん(えーぜっとの会代表)、山上隆子さん(サポネ  
事務局長)

※手話通訳あり

★問合せ:NPO法人障害者の自立を支えるサポート  
ネットワーク(サポネ)/TEL06-6846-7781、  
FAX06-6846-7782、E-mail:CQT01523@nifty.com  
HP:<http://homepage2.nifty.com/sapone/>



# きずなダイアリー

## 情報募集中!

「きずなダイアリー」は「きずな」会員や関連団体の催し、活動情報および、共催や後援情報などを掲載します。

催しや会員募集の掲載を希望するグループは、ぜひ「きずな」へご連絡ください。お待ちしております。

### NPO法人 関西シャンソン協会

#### ●第1回 KC シャンソンコンクール

★趣旨: シャンソン文化の発展のため、交流を広げる活動の一環としてコンクールを行います。シャンソンの次代の歌手を発掘し育てる事も目的の一つです。

鑑賞チケットのお申し込みは、お電話かファックス(Tel 06-6336-0201)で、KC シャンソンコンクール運営部までお寄せ下さい。コンクール応募要件については、<http://music.promole.net/kanchan/news/>

●予選=2010年8月7日(土) 14:00 開演、20:00 終演予定/一般公開/入場料:2,000円/場所:大丸心斎橋劇場

●本選=2010年8月12日(木)17:00 開演、20:00 終演予定/一般公開/入場料:3000円/場所:難波フッパ上方 フッパホール

★問合せ:KC シャンソンコンクール運営部  
TEL06-6336-0201

★審査結果は即日会場にて発表します  
※関連記事/いろいろえんぴつNo.17の3ページ

#### ●「豊中だがしや楽校@夜店大会」

★日時:7月24日(土) 18:00~21:30/会場:岡町・原田神社境内(阪急宝塚線岡町駅東側すぐ)/内容:オリジナル提灯作り、遊びの屋台(射的やスーパーボールすくいなど)、お化け屋敷など

★問合せ:豊中だがしや楽校実行委員会  
(協力:ほたる企画)TEL06-6840-5656

#### ●「おかまちクラシックコンサート」

★日時:8月8日(日) 15:00~16:30/会場:おかまち・あーとらんど(阪急宝塚線岡町駅東側徒歩約4分)/チケット:前売1,000円、当日1,200円

★問合せ:おかまち・まちづくり協議会  
(協力:ほたる企画) TEL06-6840-5656

### 近畿ろうきん

#### ●「心のそしな」プロジェクト 開始

★フィリピンの子どもたちに給食を

★募集期間:2010年5月1日(土)~9月30日(木)  
場所:豊中支店(豊中市中桜塚2-12-9 新桜塚ビル1F、Tel06-6848-3101)でも取り次ぎます

★粗品の代わりに、途上国の子どもたちに給食を~定期預金・財形預金等を「ろうきん」でご利用いただくと、粗品をお渡しする代わりに、その粗品分のお金を命の素となる学校給食に変えて、フィリピンの子どもたちに届けます

★金融機関が利益の一部で行う社会貢献活動ではなく、提供する金融サービスをお客様にご利用いただくことが、同時に、フィリピンの貧困層の子ども支援となる仕組みです

★NPO・NGOとろうきんのコラボ事業です/主催:近畿労働金庫本店営業部推進委員会、近畿労働金庫本店営業部/協力:特定非営利活動法人アクセス-共生社会をめざす地球市民の会、特定非営利活動法人関西NGO協議会

★問合せ:近畿労働金庫 本店営業部

Tel06-6449-1211

<http://www.rokin.or.jp/>



### 「きずなダイアリー」へのご連絡は

■特定非営利活動法人とよなか市民活動ネットワークきずな  
〒561-0884 豊中市岡町北 3-3-10

TEL&FAX 06-6848-8989

■市民活動情報サロン (阪急豊中駅北改札口前)

TEL 06-6152-2212 FAX 06-6152-2213

URL: <http://www.kizuna-toyonaka.or.jp>

Mail: [mail@kizuna-toyonaka.or.jp](mailto:mail@kizuna-toyonaka.or.jp)